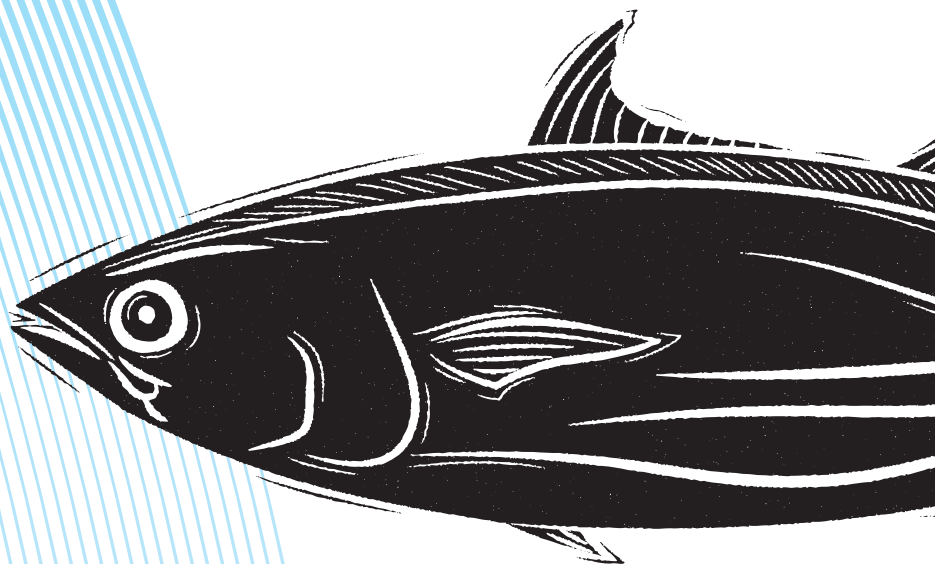


令和7年度 高知カツオ県民会議 シンポジウム



令和8年

日時

2月15日 日

14:00▶16:30(開場/13:30)

場所

高知城ホール(4Fホール)
高知市丸ノ内二丁目1番10号

高知県の県魚であり、地域を代表する食材であるカツオを、地域の誇りとして将来にわたり守り続けていくため、2017年2月に産学官民の有志が結集し、「高知カツオ県民会議」を発足いたしました。来年、いよいよ10周年を迎えるにあたり、これまでの歩みを振り返るとともに、今後どのような活動を展開していくべきかを考える場としたいと考えております。第二部では、一本釣りを支えるインドネシア人船員たちに焦点を当てます。船員へのインタビュー動画を上映した後、パネリストとともに彼らの仕事ぶりや現場の課題に理解を深めます。また、インドネシア人船員の素顔にレンズを向け続ける写真家・伊藤和臣氏の作品展示や解説も同時開催いたします。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

参加費 無料

お申し込み〈一般〉

入場ご希望の方は、メールまたは申込フォーム(二次元コード)で
●氏名 ●所属 ●役職 ●連絡先 をご記入の上、お申し込みください。

✉ kssa@kochi-katsuo.com



お問い合わせ 高知カツオ県民会議事務局

高知カツオ県民会議

検索

www.kochi-katsuo.com



[主催]



高知カツオ県民会議

プログラム

14:00 ● 開会挨拶

山崎 道生 高知カツオ県民会議 会長 | (株)山崎技研 取締役会長

14:05 ● 対談

「高知カツオ県民会議
10周年への序章 ～歩みと未来を語る～」

山崎 道生 高知カツオ県民会議 会長 | (株)山崎技研 取締役会長

竹内 太一 高知カツオ県民会議 副幹事長 | (株)土佐料理司 代表取締役社長

受田 浩之 高知カツオ県民会議 会長代理 | 高知大学 学長

14:55 ● 休憩

15:00 ● 動画上映

「カツオ一本釣り漁を支える
インドネシア人船員たちの生活と未来の希望を
多国籍共生社会実現の視点から考える」

15:45 ● 休憩

15:50 ● パネルディスカッション

「インドネシア人船員たちの素顔と未来
～共生社会の視点から～」

パネリスト



伊藤 和臣氏

気仙沼在住 写真家
三陸新報社

宮城県気仙沼市生まれ。

5歳で写真に興味を持ち始める。東日本大震災後、復旧から復興へと変わりゆく気仙沼市を撮る中で、カツオ一本釣り船の外国人技能実習生に関心を持ち、撮影を続けた作品「Intern」が2016年キャノン写真新世紀を受賞。防災士としても高知県へ通い続けている。



坂上 雅也氏

高知かつお漁協 専務理事

高知県漁連、高知県漁協を経て、2013年から高知かつお漁協勤務。
21年から現職。



八田 大輔氏

高知新聞社 記者

神奈川県生まれ。47歳。

2009年高知新聞入社。幡多支社、須崎支局を経て2015年から本社報道部。
水産、釣り、災害分野などを担当。2016年からシリーズ企画「カツオと生きていく」を継続中。

ファシリテーター

黒笹 慈幾 高知カツオ県民会議 幹事 | 南国生活技術研究所 代表

16:30 ● 閉会